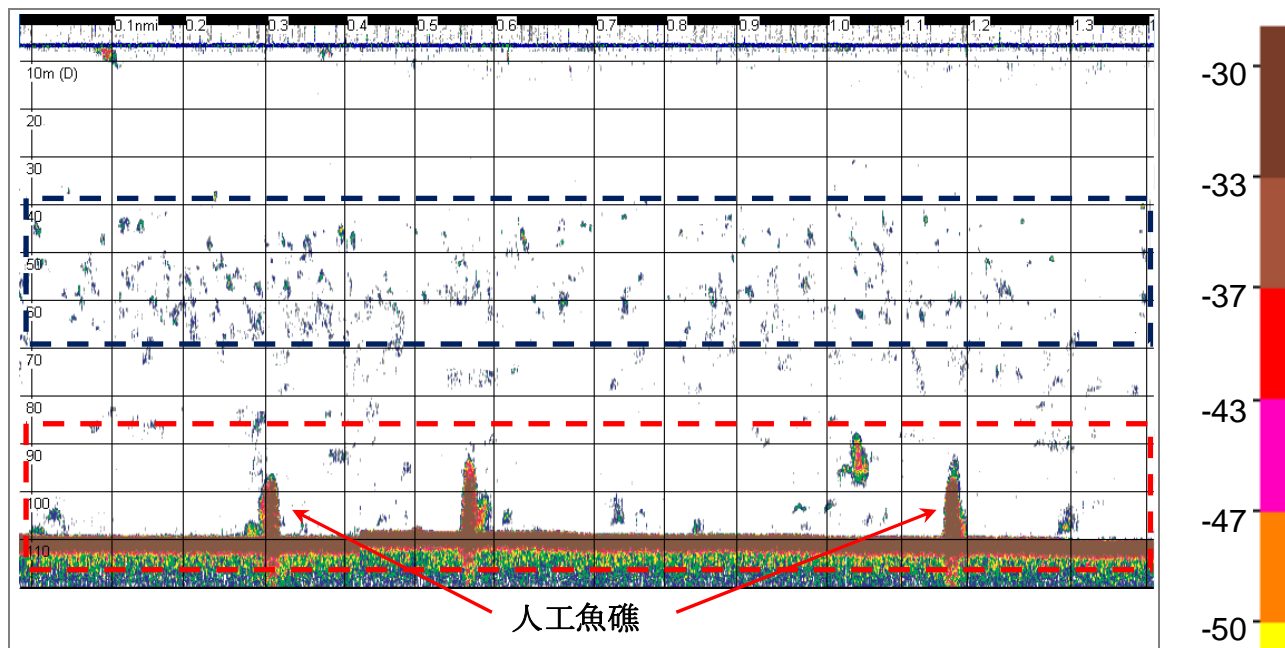


反応構成生物： マアジ (*Trachurus japonicus*)

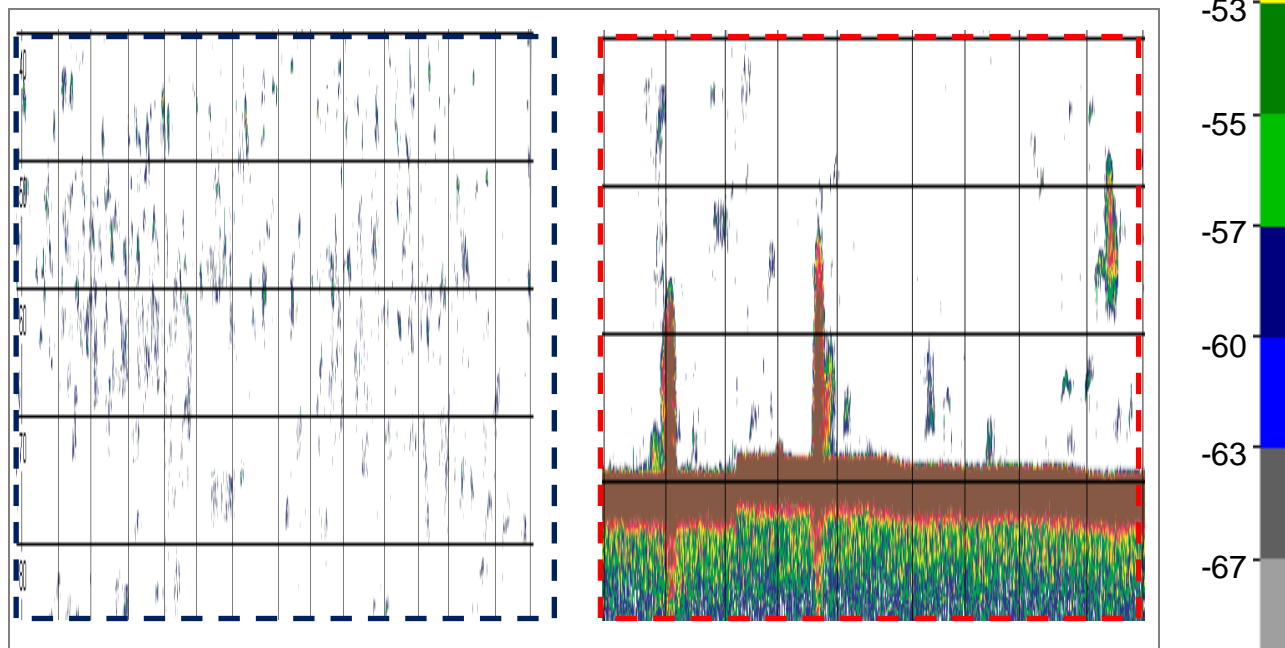
収録日時：2001年7月10日 (昼間 14:00 頃)

収録海域：日本海, 浜田沖

収録機種・周波数：FQ-70・50 kHz



Echogram-1 50 kHz



Echogram-2 50 kHz (拡大図)

表示スケール： 縦 120 m / 横 1.4 n.miles, グリッド間隔： 縦 10 m / 横 0.1 n.miles

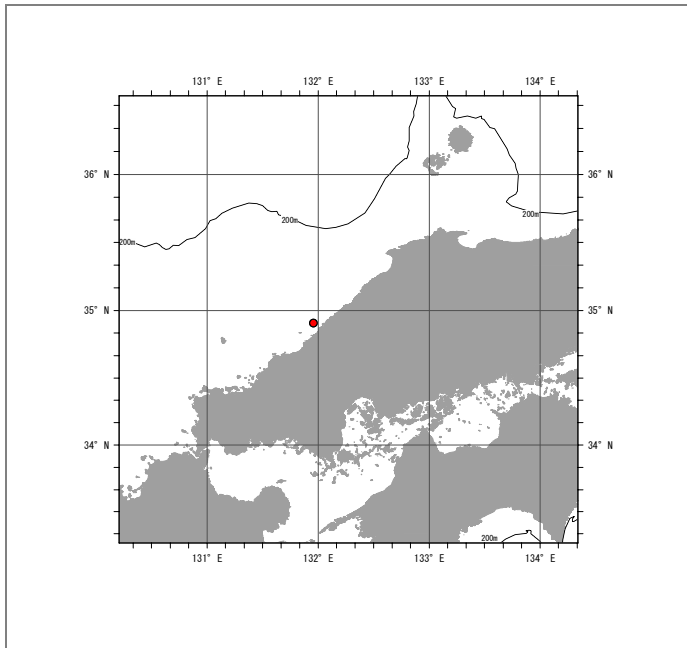
表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -70 ~ -30 dB

青色 平均 S_v 値： -56.9 ± 1.4 (dB), 魚群高さ： 3.0 ± 1.3 (m; \pm s.d.), 魚群幅： 12.2 ± 7.4 (m; \pm s.d.), 魚群の中心深度： 48.7 ± 6.2 (m; \pm s.d.)

赤色 平均 S_v 値： -54.6 ± 2.4 (dB), 魚群高さ： 6.0 ± 4.2 (m; \pm s.d.), 魚群幅： 21.4 ± 17.5 (m; \pm s.d.), 魚群の中心深度： 102.2 ± 5.3 (m; \pm s.d.)

データ提供：水産大学校 海洋生産管理学科 (中村武史), 島根県水産技術センター, 島根丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

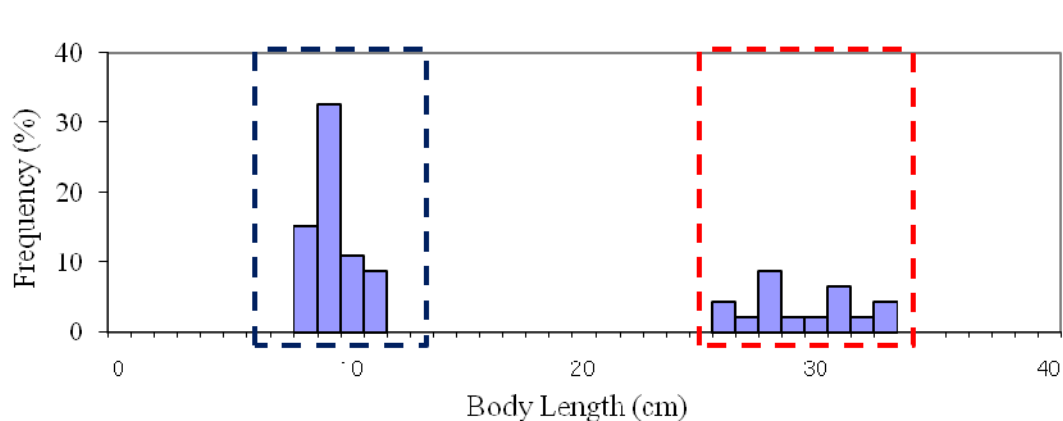
手釣りによって反応をサンプリングし（30分間の釣獲試験）、マアジであることを確認したこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： マアジ 61 個体

釣針深度： 40~110 m，サンプリング結果はエコーグラムの反応に対応

マアジの体長組成： 以下参照。2つのモードが見られ、青色の破線で示した部分の平均尾叉長は 9.7 cm，赤色の破線で示した部分の平均尾叉長は 29.8 cm であった。



参考文献：

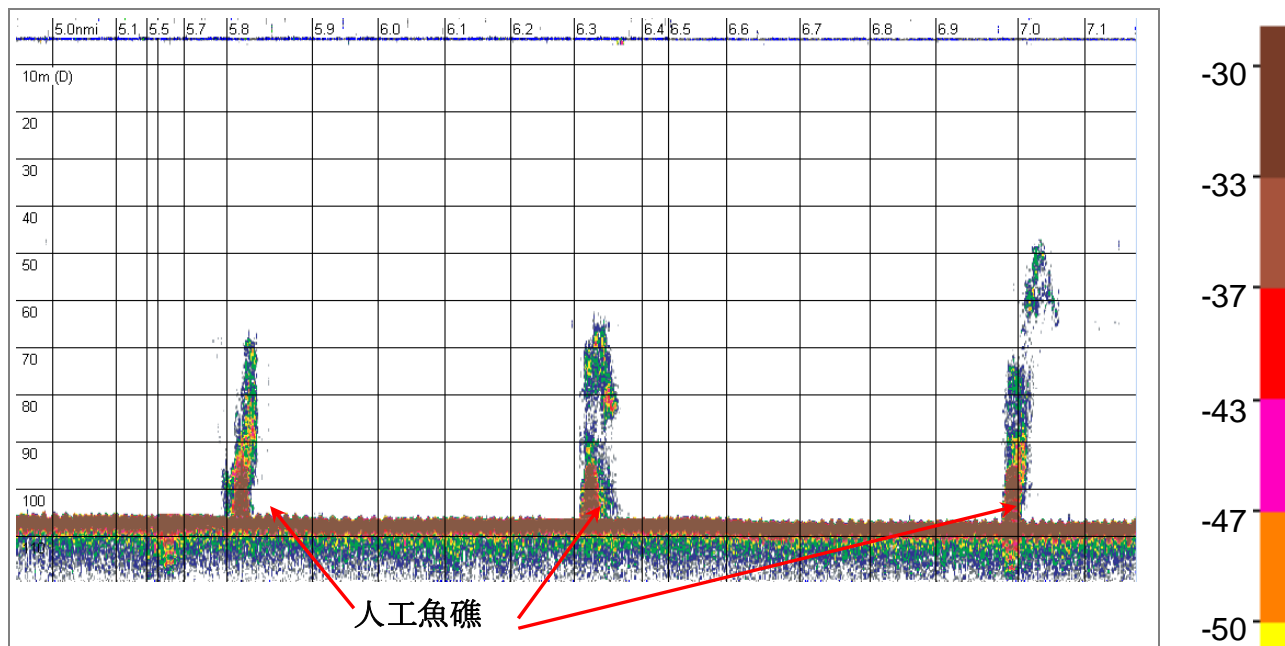
Nakamura T., Hamano A. 2009 Seasonal difference in the vertical distribution pattern of Japanese jack mackerel, *Trachurus japonicus*: changes according to age?. ICES Journal of Marine Science, 66(6): 1289-1295.

反応構成生物： マアジ (*Trachurus japonicus*)

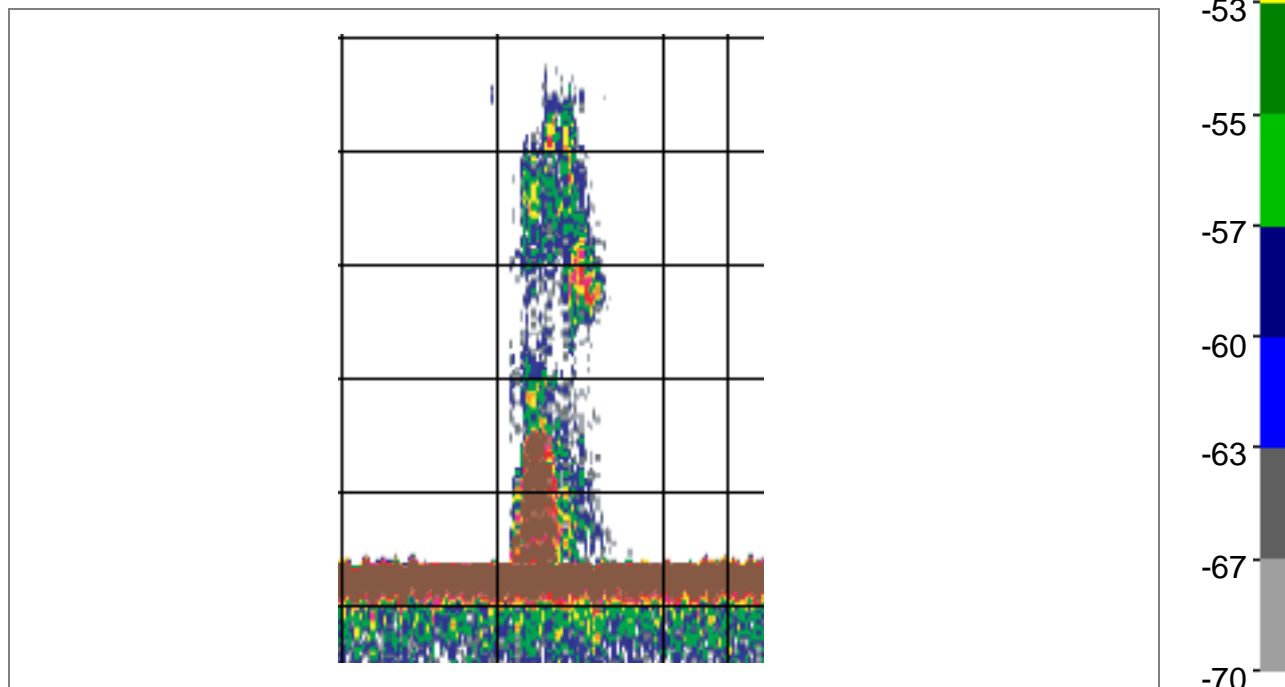
収録日時：2001年8月2日 (昼間 12:00 頃)

収録海域：日本海, 浜田沖

収録機種・周波数：FQ-70・50 kHz



Echogram-1 50 kHz



表示スケール： 縦 120 m / 横 2.1 n.miles

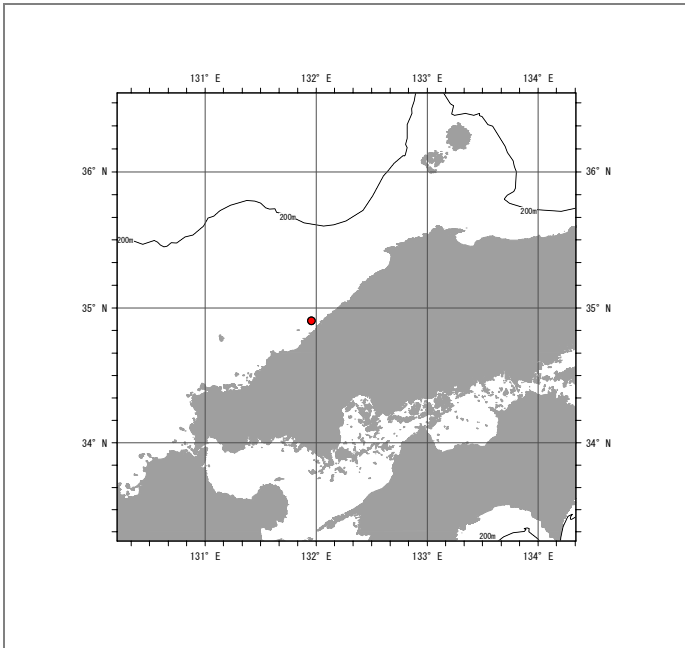
グリッド間隔： 縦 10 m / 横 0.1 n.miles

表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -70 ~ -30 dB

平均 S_v 値： -54.6 ± 3.2 (dB), 魚群高さ： 12.5 ± 10.8 (m; \pm s.d.), 魚群幅： 29.9 ± 25.4 (m; \pm s.d.), 魚群の中心深度： 81.3 ± 17.9 (m; \pm s.d.)

データ提供：水産大学校 海洋生産管理学科 (中村武史), 島根県水産技術センター, 島根丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

手釣りによって反応をサンプリングし（30分間の釣獲試験），マアジであることを確認したこと。

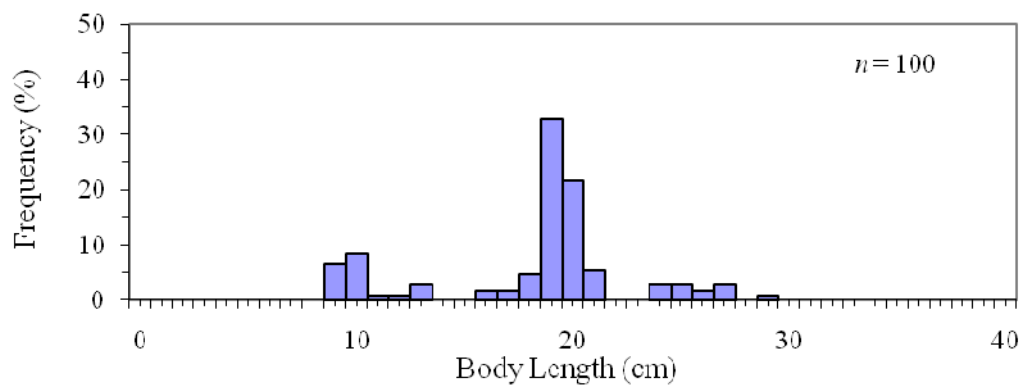
サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： マアジ 139 個体

釣針深度： 70~110 m

マアジの平均尾叉長： 18.9 cm

マアジの体長組成： 以下参照。



参考文献：

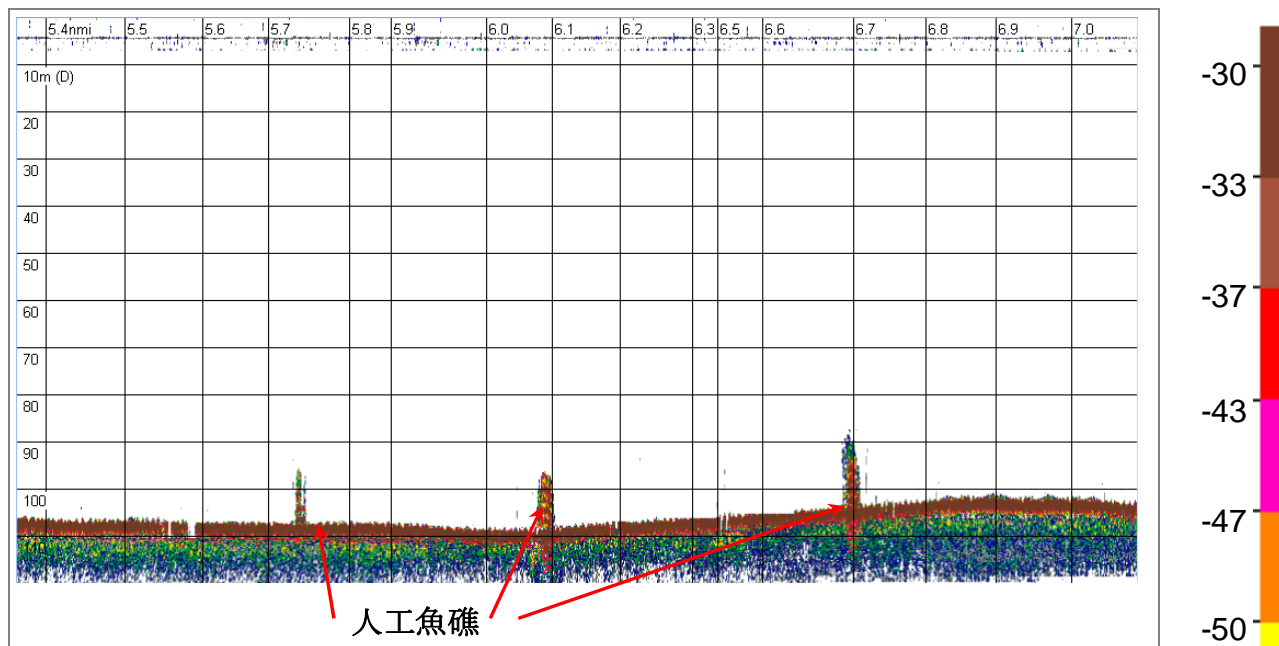
Nakamura T., Hamano A. 2009 Seasonal difference in the vertical distribution pattern of Japanese jack mackerel, *Trachurus japonicus*: changes according to age?. ICES Journal of Marine Science, 66(6): 1289-1295.

反応構成生物： マアジ (*Trachurus japonicus*)

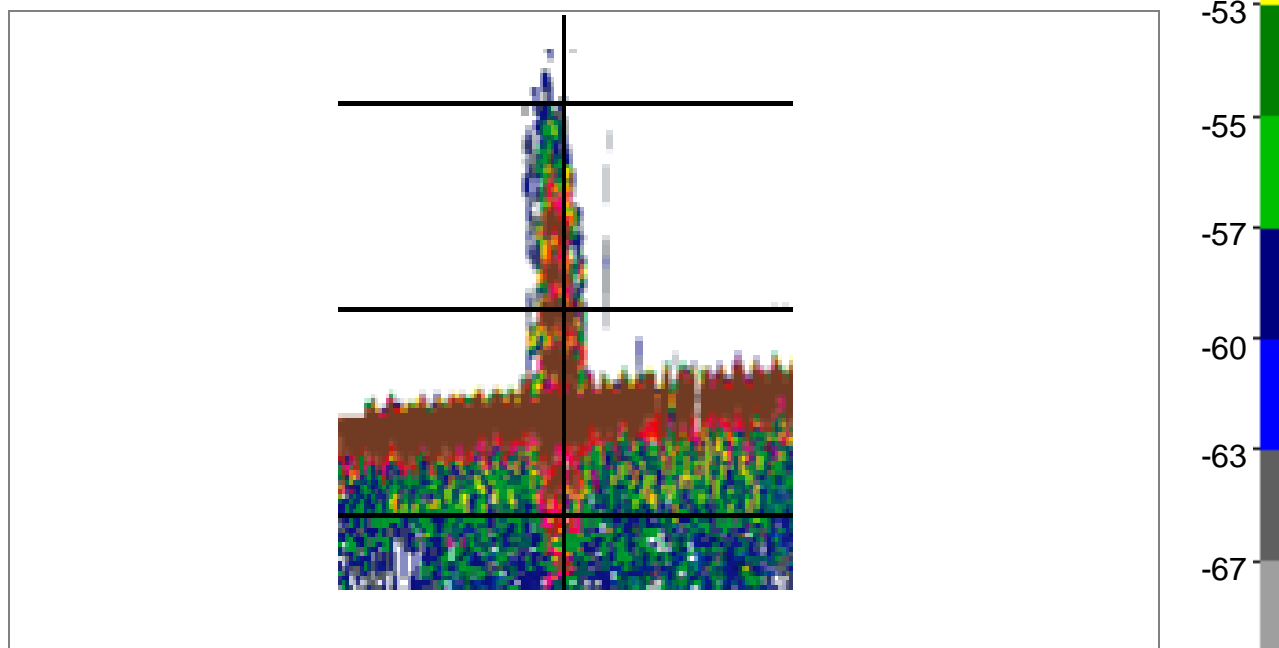
収録日時：2001年9月26日 (昼間 11:00 頃)

収録海域：日本海, 浜田沖

収録機種・周波数：FQ-70・50 kHz



Echogram-1 50 kHz



Echogram-2 50 kHz (拡大図)

表示スケール： 縦 120 m / 横 2.1 n.miles

グリッド間隔： 縦 10 m / 横 0.1 n.miles

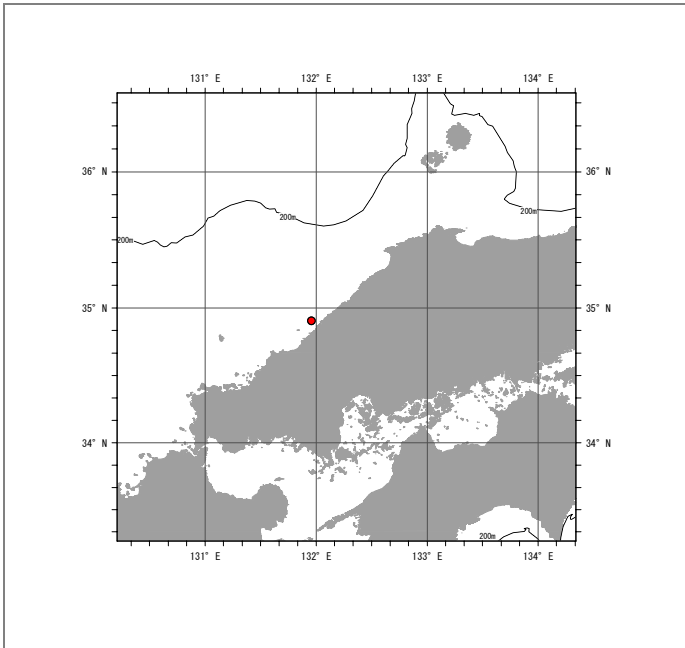
表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -70 ~ -30 dB

平均 S_v 値： -54.4 ± 2.0 (dB), 魚群高さ： 5.3 ± 3.3 (m; $\pm s.d.$)

魚群幅： 10.0 ± 8.5 (m; $\pm s.d.$), 魚群の中心深度： 101.5 ± 4.5 (m; $\pm s.d.$)

データ提供：水産大学校 海洋生産管理学科 (中村武史), 島根県水産技術センター, 島根丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

手釣りによって反応をサンプリングし（30分間の釣獲試験），マアジであることを確認したこと。

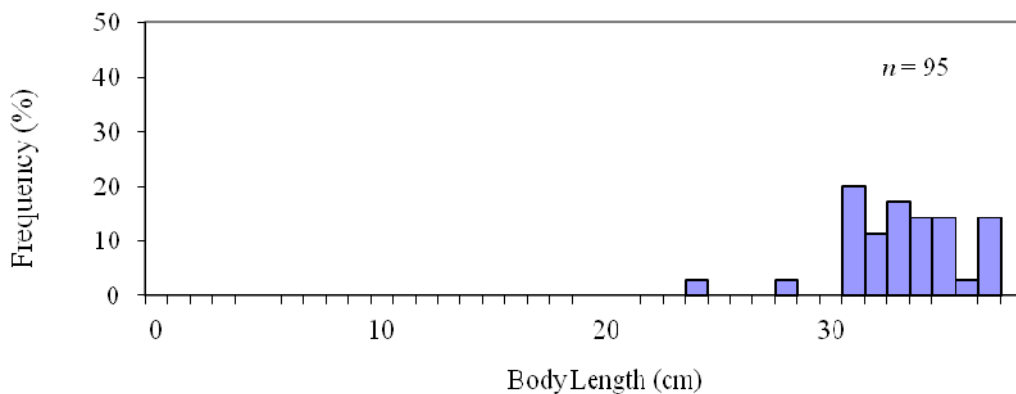
サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： マアジ 95 個体

釣針深度： 90~110 m

マアジの平均尾叉長： 33.6 cm

マアジの体長組成： 以下参照。



参考文献：

Nakamura T., Hamano A. 2009 Seasonal difference in the vertical distribution pattern of Japanese jack mackerel, *Trachurus japonicus*: changes according to age?. ICES Journal of Marine Science, 66(6): 1289-1295.